KOHOKU

# 港北青指

第 27 号
平成23年6月1日発行
発行者
港北区青少年指導員協議会
編　集
広報委員会
事務局
港北区大豆戸町 26-1
港北区役所地域振興課内
TEL 045-540-2239
FAX 045-540-2245

## 港北区青少年指導員研修会

### 「知っていますか？子どものネットあそび」

**～インターネットやケータイ利用、保護者の無知が危険を招く～**

二月二十四日（木）港北公会堂にて平成二十二年度港北区青少年指導員研修会が開催されました。

本研修会は、昨年十一月の神奈川県青少年指導員大会で好評であった田島和彦氏の講演を、青少年指導員だけでなく、ＰＴＡ、地域の保護者の皆様にも知って頂こうと、広く呼びかけ、実施されました。

ネットの恐ろしさを理解しないままネットの利用が広まっていく中、田島氏のもとには子ども達からネットに関する相談がおよそ3万件ほど寄せられている。しかし、そのほとんどが近くの大人でも解決できる内容と同氏は言う。

田島和彦先生

講演に聞き入る参加者

頭ごなしに叱ったり、何でもすぐに否定するのではなく、正しい知識を身につけ、子どもの目線で一緒に考え、指導していく姿勢を青少年指導員、保護者としても持っておきたいものである。

## 全市一斉統一行動キャンペーン

十一月七日（日）全市一斉統一行動キャンペーンをトレッサ横浜（師岡町）の南棟イベント広場を中心に行いました。

活動趣旨は、青少年健全育成に対する皆様方の意識の醸成を行い、私達の活動を広くＰＲすることです。

昨年と同様に場所を提供して頂いたトレッサ横浜店様に感謝します。

## 会計事務研修会開催

三月二十二日（火）港北公会堂一号会議室にて、会計事務研修が行われました。

地域振興課・武島氏の司会にて各地区会長・会計担当者が出席し、地区青指協決算報告書の記載方法について指導、意見交換を主たる内容とした研修となりました。

各地区で作成される決算報告書の統一性・公平性を図るべく、区青指協交付金・自主運営費など、それぞれの収支を明確化して、透明性を高め、疑問点が残らないよう、議論を繰り広げました。

非常に有意義な研修でした。

研修風景

## 横浜市青少年指導員大会

横浜市青少年指導員大会は三月十三日（日）に関内ホールにて行われる予定でした。

しかし、東日本大震災の影響で開催は中止となりました。関内ホール近辺は、道路に亀裂が入るなど大きな被害があったようです。

今回の震災で被災された方の中には、私達と同じく青少年の健全育成に関わる方もいらっしゃることでしょう。哀心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

被災地に子ども達の笑顔が戻り、笑顔で満たされることを願ってやみません。

### ◎平成22年度　表彰◎

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 10年 | 宮内美知子 | 高　田 | | |
| | 小野　信江 | 綱　島 | | |
| 15年 | 出原　尚子 | 篠　原 | | |
| | 橋本　隆之 | 城　郷 | | |
| | 相沢　一夫 | 高　田 | | |
| 26年 | 石井　勝子 | 菊　名 | | |



## 地区紹介

### 遊友フェスタ

**大曽根地区**

大曽根地区は大曽根小学校を中心として活動しています。

大曽根地区青指として独自の活動は行っていませんが、自治連合会を中心とした地域活動や、小学校・ＰＴＡを中心としたイベントなどに積極的に参加し、地域との連携を深めています。

地域においては、大人達と子ども達が顔見知りになり、交流を深めることが大切であるとの考えから毎年「遊友フェスタ」というイベントを実施しています。

今年は規模・内容とも新たに二月六日（日）に行いました。小学校・ＰＴＡ・子ども会・はまっ子・体指・青指・ボランティア団体が協力して餅つきと昔遊びを行いました。

青指の担当は昔遊びです。けん玉やおはじき、お手玉など懐かしい遊び道具を用意して子ども達を迎えました。ところが、けん玉の名手はおらず、お手玉はボランティア団体のご年配の方に教えて頂く始末。しかしそれが交流のきっかけとなり良かったと思います。

子ども達は校長先生や親・友達と羽根つきをしたり、おはじきで一喜一憂したりと、それぞれに楽しんでいました。

地域交流にはうってつけのイベントなので、今後も積極的に参加し、盛り上げていきたいと思います。けん玉の腕も磨きつつ…。

お手玉を体験

### ミニキャンプ

**新羽地区**

私たち新羽地区では、毎年初夏にミニキャンプを行っています。

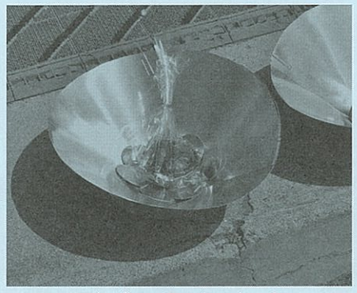
新羽中学校のご協力の元、校庭でキャンプファイア、教室でのお泊り・流しそうめんやカレー作り・消防署ご協力による消防訓練のほか。

今回、講師をお招きしてのソーラークッカー調理体験を取り入れました。

太陽光を利用して調理するソーラークッカーを使い、子ども達一人一人がゆで卵作りに挑戦しました。まずはアルミホイルと厚紙でできたソーラークッカーを組み立て、太陽の向きに設置し、その中心に生卵を乗せて待ちます。

結果は、残念なことに薄暗く体験時間も短かった為、半熟卵ないしは温泉卵となってしまいましたが、その後の流しそうめんで活躍したのは言うまでもありません。

今回挑戦したＥＣＯクッキングは、子ども達にも評判でした。


これがソーラークッカー？

## ふるさと港北ふれあいまつり

十月十六日（土）、新横浜駅前公園に於て「ふるさと港北ふれあいまつり」が開催されました。

新横浜パフォーマンスと同時開催ということもあり、出足が鈍く感じられましたが、天候に恵まれ多くの人で賑わいました。

青少年指導員はスタンプラリー抽選会の係員として、毎回参加しています。豪華商品に期待を寄せて目を輝かせている子ども達の姿が印象的でした。

また、ブース出店もして、港北区地産の新鮮野菜を販売しました。美味しい野菜がスーパーマーケットよりも安価で手に入るとあって、短時間で完売してしまいました。会場には連合町内会の一員として出店している青指の姿もあり、地域との連携を感じました。

ステージではアンパンマンショーが繰り広げられ、更には「アラメヤ音頭」も披露され大いに盛り上がりました。

港北区キャラクターのミズキー・Ｇ30マスコットのミーオと記念撮影する親子連れやミズキー・ミーオのタトゥシールを顔に貼ってご機嫌な子ども達を見るにつけ、「ふるさと港北」を大切にし、青少年指導員として更なる活動をしていきたいと思う一日でした。

参加者で賑わう会場

## 編集後記

どうしたんでしょう。ＮＺランド地震といい、今回の東日本大震災といい、同時に福島原発事故まで併発してしまった未曾有の大震災でした。どうぞ地球の神様達怒らないで下さい。

さて、時間の経過は、本当に早いものですね。足元を見つめ計画的な行動を考える今日この頃です。

あいちゃん

このマークは、青少年にやさしい環境を願ってヨコハマの青少年指導員が決めたものです。

## 青指の声

山が思ったよりキツかったが、場所は楽しい所だった。

参加した子ども達が想像していたより大人で、ほぼ時間通りにまとまって行動していたのが素晴らしかった。

子ども達が自分の身体を使ってもっと自由に自然を感じる時間を作ってあげたい。

青指と子ども達が親しくしている場面は嬉しく思う。

# 第2回 自然体験教室

## 県立愛川ふれあいの村で 第2回自然体験教室を実施

11月3日(水)、港北区青少年指導員協議会は、区内の子ども達、144名を引率し、県立愛川ふれあいの村で自然体験教室を実施しました。

当日、朝8時に大型バス4台で区役所を出発、9時半頃現地着。

オリエンテーション後、班に分かれて、自然観察開始コースに沿って樹林の中を探索すること、約1時間全員無事ゴール。

## 参加者の声

自然を感じ、学びながらクイズをできる機会で木や動物の特徴を知りました。

どんぐりがたくさんあった。どんぐり合戦もした。

自分の名前と同じ字を書く木があったので嬉しかったです。その木はいい香りがしました。

自然が残っているから、それを残したい。

もう少し体験ができれば良いと思っています。

木ラリーで学んだ事は、みんなと協力してやらないとできないという事です。一人でもできるけど、大勢のグループでやったほうが早く正しく見つけられるからです。

ウォークラリーの木を探すのでは、カツラの木のいい匂いや、くり・くるみの殻が落ちていて、動物がいる事を感じました。普段、家の近くに無い木はとても珍しい感じがして、面白かったです。皮の白い木シラカバがきれいに皮が向けて凄かったです。

ウォークラリーをミッツ(青指)とメンバーと頑張ってやりました。私にとっては、とっても楽しかったです。



指導員の人と話すのが楽しかった。

クルミの木があることにビックリしました。

ウォークラリーで学んだ事は、その木の種類や形、匂いなどがそれぞれ違いました。木には色々な長さがあって長い木や短い木がありました。12個全部できて良かったけれど、分からないところはみんなで協力してできて凄く楽しかったです。

自然の中で活動する事が体の中の空気をきれいにしてくれる事が分かりました。

木の名前を覚えてみたいです。

森の空気が美味しかった。あと、自由時間を作ってほしかった。

学年や年齢が違う参加者と友達になれて嬉しかった。書ききれないほど良い事がたくさんありました。

私が知っているのより面白い木がたくさんあって楽しかったです。(みんな＝木)

前から気になっていた、甘い香りの正体が分かって良かった。正体はカツラ。

途中、迷子になったが、どんぐりに八つ当たりしてたらグループのみんなが来た。

木々の命を感じた。木々には色々な特徴があった。トゲトゲの幹だったり、ギザギザの葉だったり。でも、みんな違うのに、まるで、みんながみんなを見つめあっている気がした。(みんな＝木)

## 横浜市青少年指導員研修会

十月三日(日)、保土ヶ谷公会堂にて、横浜市青少年指導員研修会が行われました。

岩崎中学校吹奏楽部の演奏で始まりました。開会の挨拶で、石井一也会長及び猪俣武雄副会長、岡部保土ヶ谷区長、橋本連合町内会会長からご挨拶頂きました。

保土ヶ谷区の地区紹介と当青少年指導員活動の紹介が行われました。研修会や紙ヒコーキ大会、自作の保土ヶ谷かるた大会など、精力的な活動を発表しました。特に、「子ども科学教室」や吹奏楽部による「バンドバトル」など、学校と協力してのイベントが印象的でした。

講演会では、地域活動を共にする、ロカビリーミュージシャンのビリー諸川氏がPTA会長や保護司の体験談をお得意のロカビリーに乗せ、語ってくれました。

上菅田中学校による「よさこいソーラン踊り」、お年寄りから小さな子ども連なる「阿波踊り」をご披露下さいました。

次回開催地は瀬谷区です。

## 神奈川県青少年指導員大会

十一月十四日(木)、川崎市高津市民館において「神奈川県青少年指導員大会」が開催されました。

吹奏楽の素晴らしい演奏で始まり、まず、二十二年度表彰式が行われました。表彰式では、青少年指導員に感謝状が授与され、県会長、県知事、川崎市副市長のあいさつに続き、嶋村県会議員の来賓祝辞、と進みました。

その後、田島和彦氏による「情報化社会の中の子ども達」と題した講演が行われました。田島氏は、PTA活動の中で、ネットの恐ろしさを理解しないで広まっていく状態を憂い、啓蒙活動を開始。メールや電話で子ども達から直接相談も受付されるようになりました。

当日のお話は保護者の無知がインターネットやケータイ利用の危険を招いている、という内容でした。大切なことは、「ネットは危険なものであることを親子で知る」「ネット機器を子どもに与える時は、『取扱説明書』を必ず読む」であり、困った時に相談できる所を確認しておくことが必要である、とのことでした。